

夏休みにおすすめの本

2023年 中学生

『ソノリティ はじまりのうた』

YA F サト

佐藤いつ子 著 KADOKAWA

吹奏楽部というだけで合唱コンクールの指揮者を任されてしまった中学1年生の早紀（さき）。伴奏者である幼なじみの音心（そうる）とともに策を練りながらクラスをまとめようとします。率先してクラスを仕切るキンタのおかげもあり、少しずつクラスが一つになってきた中、本番直前に思わぬアクシデントが起こり……。等身大の悩みを抱える中学生たちの成長を描く青春物語です。



『あと少し、もう少し』 YA F セ

瀬尾まいこ 著 新潮社

中学駅伝から生まれる6人の物語は、そのメンバーの多様さから万華鏡のようにくるくるキラキラとそれぞれの世界を紡ぎます。第一区、陸上部所属の小心者な設楽。第二区、日々やる事を見いだせない俊足の不良大田。第三区、影も裏もないムードメーカージロー。第四区、吹奏楽と駅伝を掛け持ちしつつ努力を隠す渡部。第五区、一番深い所に秘密を隠した俊介。第六区、彼らを揃えたアンカーの柁井。真剣な想いを抱え、彼らは走ります。

『八月の光』 K913 ク

朽木祥 著 偕成社

8月6日、原爆が投下された日、多くの人々がそれぞれ歩んできた人生を奪われました。自分が助かったことで苦しみ、苦しみ抜いた末、自分の名前さえわからなくなってしまった青年がいました。ある日、青年はオルガンの音に引き寄せられるように教会に入っていきます。教会堂に響くオルガンの調べは青年の苦しみを和らげました。こうして、青年は教会に音楽を聴きに行くようになります。そして、ひとりの修道士と出会いました。

『きみの友だち』 F シ

重松清 作 新潮社

10才のある雨の下校中、かさをもってきていた恵美は何人もの‘友だち’にかさに入られてしまい、道路に出たところを車にはねられて、一生松葉杖が必要なけがを負ってしまいます。おみまいにきた‘友だち’に当たり散らしていた恵美が、退院して学校に戻ると‘友だち’はもういなくなっていました。

『かがみの孤城』 YA F ツシ

辻村深月 著 ポプラ社

学校に行くのがどうしても辛かった中学生のころは、光り輝く鏡の先に、逃げ込む世界を見つけます。その世界の城には6人の中学生と、狼のお面をつけた女の子がいました。ころ達は願いが叶うという鍵を探しながら、傷つけられた心を癒すように、その城での時間を共にします。

『十一月の扉』 K913 タ

笹生陽子 著 福音館書店

中二の夏休みに突然お母さんから言いだされた引越宣言に、優は反発しますが空しく敗退し、私立の受験校から村立の生徒総数16名の中学校へ転校することになってしまいます。そこは海外に単身赴任しているお父さんの故郷で、一人で暮らすおじいちゃんとの同居生活が待っていました。田舎から飛び出したくて虚栄をはる優でしたが、現実を受け入れた時、その場所はかけがえのない楽園に変わっていました。

『吉野北高校図書委員会』 Yフ F ヤ

山本渚 著 KADOKAWA/MF 文庫ダ・ヴィンチ

川本かずらは吉野北高校の図書委員会で副委員長をしています。ある日、親友の男子が後輩と付き合いだしたことで心の中がざわつきはじめます。自分の気持ちがわからないかずらは、悩みながら高校生活を過ごしていきます。果たしてその気持ちは何なのでしょう。図書委員会の仲間たちも交え、恋愛や進路などに対して体当たりしながら成長していく物語です。

『西の魔女が死んだ』 YA F ナシ

梨木香歩 著 新潮社

中学校に入ってすぐに学校に行けなくなってしまったまいは、自然に囲まれた田舎で暮らすイギリス人のおばあちゃんのもとで過ごすこととなります。まいとまいのママから「西の魔女」と呼ばれるおばあちゃんとの暮らしの中で、まいは「自分のことは自分で決める」という魔女修行を始めていきます。

『バッテリー』 K913 ア

あさのあつこ 著 教育画劇

小学校卒業と同時に母の故郷で祖父といっしょに暮らすことになった巧。小学校ではエースピッチャーとして名前を知られる存在だった彼は、環境が変わっても朝のランニングや投げ込みなどを怠ることはありませんでした。ある日、巧のことを知る同年の豪という少年とその友だちに出会います。運命的に出会った巧と豪ですが、目指すバッテリーへの道は遠く険しいものでした。

『だれにもはなさなかった祖父のこと』

K933 モ

マイケル・モーパーゴ 文 ジェマ・オチャラハン 絵
片岡しのぶ 訳 あすなろ書房

マイケルの祖父は戦争で顔に大きな傷を負いました。両親はそんな祖父に気を使い、マイケルに祖父の顔をみないよう言います。また、祖母のことも多くを教えてくれません。マイケルは夏休み、ひとりで祖父の住む島を訪れます。そこで祖父は今まで誰にも話さなかった話をマイケルにしてくれました。それはつらく悲しい記憶でした。マイケルとの交流を通して、体と心に傷を負った祖父が救われていく様子を洗練されたイラストとともに描きます。



木更津市立図書館

TEL 0438-22-3190